

大学研究室訪問

財団法人 ひろしま産業振興機構

開催日時: 平成18年10月24日(火) 13:00~15:00

開催場所: 県立広島大学 広島キャンパス
(〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71)

訪問研究室: 栢下 淳 助教授

専門分野: 高齢者の栄養管理(特に嚥下機能・咀嚼機能低下)
病態別栄養管理

研究内容:

(背景) 高齢化社会が進む中で、中年期までの食生活や運動不足などに起因する高脂血症、糖尿病、高血圧などの生活習慣病が増加している。一方、高齢者の入院患者のうち、4割が低栄養状態であると報告されている。今後は厚生労働省の医療費抑制方針とも相まって、生活習慣病および低栄養状態の予防的な面が重視され、機能的な食品の需要が増加すると考えられる。

機能的食品の代表的なものとして特定保健用食品があり、現在の主要品目は、「整腸に関連するもの」の他、「コレステロール関係」、「血糖値・血圧関係」となっているが、今後高齢社会の進展とともに、低栄養の予防や改善用の機能的食品も対象になることが予想される。

(研究内容) 当研究室では、嚥下機能・咀嚼機能の低下した人に適する食品の研究を進めている。具体的には、病院との共同研究による低栄養状態の高齢入院患者の症候解析結果に基づき、嚥下障害者に対する栄養管理方法について力を入れている。また嚥下障害者に対し先進的な取り組みを行っている病院の食事の物性解析を行ない、機能状態が低下した人に適する物性を検討している。